

子どもとはじめる 暮らしのエコチャレンジ

市内の小学生と保護者が
地球にやさしい暮らしに取り組みました

取り組みの成果

平成14年度から、市内の小学4年生を対象に「子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ」を実施しています。

この事業は、子どもと保護者が一緒に取り組むもので、日常生活を通じて暮らしと環境とのかかわりを知り、今日の環境問題を解決するために何をすればよいのかを考えながら、環境にやさしいライフスタイルを身につけていくことを目指しています。

22年度は、市内18校の4年生906人が「電気」「水」「ごみ」の3つのテーマを通じて、地球温暖化問題について学び、その解決のため何をすればよいのかを考え行動しました。

1週目を日常生活のチェック期間、2週目を環境にやさしい暮らしを実践するチャレンジ期間とし、2週間取り組みました。

ここでは、チャレンジ期間の取り組み結果を報告します。

電気

を使う量を減らすぞ

CO₂
約 724kg 削減

電気使用量を約1,856kWh節約することができました。これは32型テレビ(150W)で、約12,375時間分の電気を節約したことになります。

この取り組みの結果、二酸化炭素の排出量を約724kg削減できました。

《チャレンジした項目》

- ①見たい番組がないときはテレビのスイッチを切る
- ②人のいない部屋やろうかの電気を消す
- ③(自分で考えた取り組み) 例：テレビゲームをする時間を減らす



水

を使う量を減らすぞ

CO₂
約 72kg 削減

水の使用量を約201ℓ節約することができました。これは300ℓの浴槽で、約668杯分の水を節約したことになります。

この取り組みの結果、二酸化炭素の排出量を約72kg削減できました。

《チャレンジした項目》

- ①手を洗うとき、石けんで洗っている間は水を止める
- ②お風呂のとき、体や頭を洗っている間はシャワーを止める
- ③(自分で考えた取り組み) 例：洗面器に水をためて顔を洗う



ごみ

を減らすぞ

CO₂
約 473kg 削減

燃えるごみの量を564kg減らすことができました。

この取り組みの結果、二酸化炭素の排出量を約473kg削減できました。

《チャレンジした項目》

- ①「燃えるごみ」「燃えないごみ」「資源ごみ」をきちんと分別する
- ②食事は残さないように食べる
- ③(自分で考えた取り組み) 例：買う前に本当に欲しいものか考える



続けることが大事

取り組み後の子どもたちの感想を見ると、「地球環境問題」に対する意識の変化、「環境にやさしい生活をしよう」という気持ちの芽ばえが感じられました。また、今回のエコチャレンジでは、「地球温暖化」の原因となっている二酸化炭素をチャレンジ期間の一週間で約1269kg削減することができました。

この数字は、地球上の二酸化炭素排出量全体から見れば小さな数字かもしれませんが、しかし、この取り組みをきっかけに、子どもたちから家庭へ、家庭から地域へとエコチャレンジの輪が広がることにより、この小さな一歩が、地球の未来を変える大きな力になるはずです。

大事なのは、続けることです。子どもたちに負けないように、できることから環境にやさしい暮らしを始め、みんなで地球環境を守りましょう。

問い合わせ
生活環境課 内線 3426

子どもたちの取り組みは、地域の環境問題はもとより、地球環境問題の改善に大きく貢献しています

市の動き

市有形文化財に2件指定

市教育委員会は3日、次の2件を市指定文化財に指定しました。



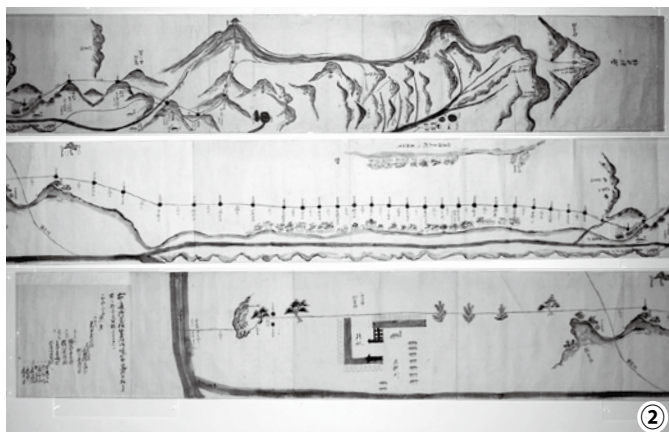
①

南部領伊達領境資料
・寛永十九年南部領伊達領境
絵図(写真①)

・嘉永三年南部領伊達領境
絵図(写真②)

南部藩側の御境古人が職務
上持っていた絵図2枚。

寛永十九(1642)年の絵
図は、南部側と伊達側で交
換した絵図面を御境古人が写
して所持していたもので、嘉
永三(1850)年の絵図は、花
巻城代の役人が巡視するにあ
たって、御境古人が描いて役
人に提出したものの控えです。
南部藩と伊達藩の境が明示



②

され、藩境の歴史を知る上で
貴重な資料です。

鬼柳関茶湯釜(写真③)

藩境を警備する南部藩の最
南端に位置する鬼柳関所で使
用された鉄釜。

胴部に大きく「鬼柳」関と
刻まれていて、鬼柳の関所で
使用されていたことが特定で
きる貴重なものです。

今回の指定により、市指定
の有形文化財は56件、市指
定文化財総数は112件にな
りました。



③

協働のまちづくり フォーラム開催

協働のまちづくりフォーラ
ムは4日、日本現代詩歌文学
館で行われました。

フォーラムは、市内企業の
地域貢献活動に市民から感
謝の気持ちを伝えるとともに、
さまざまなまちづくりの主体
が協働のまちづくりを進める
ための雰囲気醸成すること
を目的に開催。表彰式に先立
ち、(株)一ノ蔵代表取締役名
誉会長・浅見紀夫さんによる
基調講演が行われ、地域と企
業の連携による地域おこしに
ついてお話しいただきました。
本年度寄せられた地域貢

献活動情報は64企業・団体
295件。また、功績賞にエ
ントリーいただいた活動の中
から7社・団体に功績賞が、

15社・団体に感謝状が贈ら
れました。功績賞の受賞企業
は地域貢献活動認証企業とし
て、イメージマークを2年間
使用することができます。

フォーラムでは、功績賞を
受賞した企業7社・団体に
る事例発表も行われ、参加者
はそれぞれ

の立場
からの地
域貢献の
理解を深
めていま
した。



地域貢献活動認証企業
イメージマーク

◆◆ 受賞企業一覧 ◆◆

【功績賞】

- AL SOK岩手(株)北上支社
- 岩手東芝エレクトロニクス(株)
- (株)小田島工業
- 北上調理師会
- (株)ケー・アイ・ケー
- (有)柴田工務所
- トヨタ紡織東北(株)

【感謝状】

- 旭ボーリング(株)○岩手建設工業(株)○岩手スリーエム(株)○(株)岩手日建工業○北上市駅前商店街振興組合○(社)北上市シルバー人材センター○北上信用金庫○北上ハイテクペーパー(株)○こみや会○(株)サトー北上工場○(株)佐藤組○(株)システムベース○(株)フジネ建設○丸片機水工業(株)○明治製菓(株)北上工場
- ※寄せられた地域貢献活動情報の詳細は、市のホームページをご覧ください。